

新任の医師を紹介します

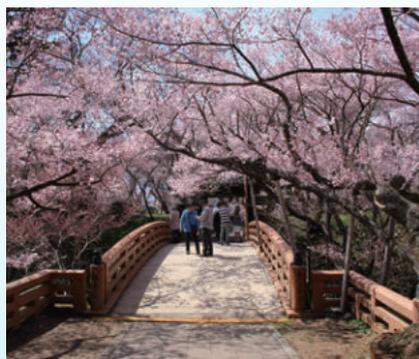
2019年1月に、健診センターの医師として向山博夫
医師が就任しました。出身や専門分野、また趣味など
についてもお聞きました。

— 出身はどちらですか。

向山:長野県伊那市高遠町です。「高遠城址公園のコヒガン桜」が有名で、中日新聞にも満開の桜の写真がよく掲載されますね。

— 医師を志したきっかけは？

向山:私は次男坊で祖母に非常にかわいがられて育ちました。その祖母が急死したことがひとつのきっかけとなり、医療に興味を持つようになりました。



高遠城址公園の桜

— 外科を選んだ理由は？

向山:診断から治療まで一貫してできる診療科と考えたからです。また若い頃は手術で患者さんを治したいと意気込んでいましたから。

— 当院の印象はいかがですか。

向山:今は健診センターに出入りしているだけです。病院全体のことはまだよく分かりません。しかし、外来を通るときに見る患者さまや病院スタッフからは、リハビリテーションに力を入れている病院だと感じました。また、外来の廊下（ギャラリー）に絵画などの展示物が飾られていて、心が癒される環境だと感じています。「メディカルフィットネス SHIN-SHIN とよた」も、病院としてはユニークな併設施設だと思います。

Topic



むかいやま ひろお
向山 博夫 医師（健診センター）

日本外科学会登録認定医
日本人間ドック学会認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医、マンモグラフィ読影認定医
日本医師会認定産業医、日本医師会健康スポーツ医
人間ドックアドバイザー

— 趣味や特技は？

向山:スポーツです。学生時代はバスケットボールを、就職してからは、一時期、硬式テニスをしていました。今は週に1~2回スポーツジムに行って運動しています。

— 日ごろから診療で心がけていることは？

向山:受診される方からの質問や健診結果などは、できるだけ分かりやすく説明するように心がけています。また、人間ドック学会やがん検診学会など、種々の学会から出されている各種ガイドラインに基づいた健診を心がけていきたいと思っています。

— 健診を受ける患者さまへ一言お願いします。

向山:健診を受ける方は、生活習慣の改善や精密検査・治療の必要

な項目がないか、必ず健診結果を確認していただきたいと思います。日本人の平均寿命と健康寿命の間には約10年の差があると言われています。ご自身や家族のために年に1回は健診を受けて、生活習慣の改善や病気の予防・早期発見に役立てて、健康寿命を延ばしていただきたいと思います。

私は30年間外科医をし、その後11年間健診に携わってきました。その経験を生かし、健診を受ける方がさらなる安心と満足が得られるように、スタッフと協力してサービスや精度の向上に取り組んでいきたいと思っています。

